

先輩職員から版

其の九

千葉市
人事委員会
事務局 発行

■ 本日の先輩 ■

動物保護指導センター 獣医師

田中 大地 (タナカ ダイチ)

採用年度：平成28年度 職種：獣医師

現所属での勤務年数：

11か月 (R2.3現在)

過去の所属 (主な職務内容)：

- ・ 食品安全課 市場・食鳥監視室
市場で取り扱う食品等の取扱いに関する監視指導、食鳥処理場に出向いての食鳥肉の検査
- ・ 食品安全課 食品監視班
飲食店等への監視指導及び食中毒発生時の調査



獣医師として市民に貢献できることは多岐に渡ります！

Q1. 千葉市職員を獣医師として志望した理由、きっかけは何ですか？

大学時代に、全国各自治体の職員による説明会がありました。獣医師として取り組む一般的な業務の他、市政や市の特徴を伺ったところ、自身に見合った内容であり、また千葉市らしさに惹かれ、志望しました。

Q2. 現在の部署について教えてください。

【業務内容】

私の主な担当業務は、

- ①動物取扱業及び特定動物の登録許可、監視指導等に係る業務
 - ②市内に生息する飼い主のいない猫 (地域猫) の不妊手術に係る業務
- となっております。それ以外にも、ペットにまつわる相談や苦情の窓口となり問題解決に向け訪問指導したり、収容動物の管理等もしています。

【やりがい、難しさ】

法律や条例等に基づくことが大前提となるため、それらの内容を把握することは大変です。ですが、そのような堅い言い回しの文面をうまく解釈し、相手に分かりやすく表現し理解してもらえることはやりがいとも言えます。とにかく、市民に感謝された時は本当に嬉しいものです。

【雰囲気】

非常に仕事のしやすい環境です。上司、先輩の皆さんにはとても優しくしてもらっています。

Q3. 入庁前のイメージと比較して、実際に職員として働いてみた感想を教えてください。

異動の度、その多種多様な業務内容には驚いています。その根本にある様々な法律や条例等を理解することが、いかに大切なのかと感じました。獣医師としての一般的な業務以外にも、例えば選挙事務は公務員ならではの思いです。また、2018年の西日本豪雨の際は、被災地での支援活動も行いました。

Q4. 獣医師として採用されたら、どのような部署に配属されるのですか。

獣医師として採用後、まずは食品衛生に携わりました。そして現在所属する動物衛生業務の他、感染症対策業務、環境衛生業務、公衆衛生に係る各種施策の企画立案等を行う業務があります。また、環境保健研究所にて検査業務で活躍される方もいます。



Q5. 千葉市を受験する際の対策や、役に立ったことなどを教えてください。

教養試験は市販問題集を繰り返し解き、専門試験は獣医師国家試験用の参考書等を毎日眺めていました。面接試験については、大学の講師に模擬面接をしてもらいポイントを教わりました。私の場合、当時、現役の大学生ということもあったことから、友達や先生に不安点等を相談してみたり、大学でおこなわれる対策講座に積極的に参加しました。学校という環境を大いにフル活用しました。

Q6. 後輩たちに期待すること、アドバイスやエールをお願いします。

私たちが担う業務には、正確性と迅速性、そして何より責任が求められます。そんななかで獣医師として市民に貢献できることは多岐に渡ります。市民の健康と安全の確保を第一に、皆さんと共に仕事ができる日を楽しみにしています。